



〈発刊所〉
信濃川左岸流域
農業水利事業所
〒940-0082
新潟県長岡市千歳
1丁目3番88号
(長岡地方合同庁舎6F)
TEL:0258-31-1011



「三古の水だより」とは？
北陸農政局信濃川左岸流域農業水利事業所が発刊する広報誌です。題字になっている「三古」とは、前歴事業(一期事業)信濃川左岸農業水利事業の原形である昭和20年に樹立した「三古用水改良事業計画」から引用した言葉です。
ちなみに、「三古」は三島郡の「三」と古志郡の「古」より出た本地区を表すものです。
また、当地区は、三度目の国営事業ということもあり、「三」にとても縁が深い地区としてこの題字としました。

高付加価値米の販売とスマート農業を活用した農業

【新潟県長岡市】 株式会社 ほそかわ農場 代表取締役社長 細川 寿和氏



法人情報
住所: 〒949-5401
長岡市飯島253番地3
電話番号: 0258-92-6496
業種: 米の生産・販売
従業員数: 2名

ほそかわ農場について

株式会社ほそかわ農場は、新潟県長岡市飯島地域のほ場で米を栽培・販売している農業法人です。細川代表は個人経営をされていた先代からほ場を引き継いだ後、令和4年、農業機械を導入する際にほそかわ農場を法人化しました。
普段は2人で22haを超える農地の管理を行っており、主食用米や業務用米を生産しています。米の品種はコシヒカリ、こしいぶき、ゆきん子舞、じのきらめきの4種です。また、農業の使用回数や化学肥料の使用量を50%に削減した特別栽培米(コシヒカリ)についても生産・販売しています。
ほそかわ農場の特徴は、個人を中心に米を販売していることです。顧客は主に県外消費者で、北は北海道、南は九州まで全国に広がっています。実際に、ほそかわ農場のHPでは購入された方から美味しいお米への感謝の声が紹介されており、長岡のお米を全国各地に広めています。

ネットを活用したお米の販売

ほそかわ農場では、先代から県外へも親戚等の口コミを通じて販売を行っていましたが、細川代表は、より多くの方にお米を届けられるように、と新たにネット販売を開始しました。
お米のネット販売に際しては、粃貯蔵の設備や真空パック梱包の機械を導入し、全国各地へ鮮度の保たれたお米を届けるよう工夫をしているほか、お米の保存方法や美味しい炊き方について説明書を同封するなど顧客第一の考えを徹底しています。

今後について

法人設立当初の経営体制は、細川代表の手腕により押し進められてきました。新たにネット広告を活用し、特別栽培米や粃貯蔵、真空パック包装によって高付加価値を付けた米をネット販売する一方で、利益を出しています。
また、ほそかわ農場ではインターンシップを受け入れており、県内の農業大学などから学生が学びに来ています。今後もインターンシップの受け入れを続けていく予定で、若手の育成に関しても積極的な姿勢を持たれています。

本取材をとおして、今後の農業の発展において、どのように商品をつくりだしていくのか、販売していくのかを考え続けることが、重要であると改めて認識できました。

細川代表、御多忙中のところ取材に御協力いただき誠にありがとうございます。事業所としても、受益農家の皆様の営農向上につながるよう引き続き事業を推進してまいります。

取材者:野崎 蘭・高橋 春花
ホームページ随時更新中



ほそかわ農場のお米の美味しさの秘密



日本では玄米貯蔵が一般的ですが、ほそかわ農場では粃で貯蔵を行っています。
粃の状態での貯蔵することにより米の生命活動は維持しつつ呼吸が増大しないように休眠させることができ、米のおいしさを保つことができます！



ほそかわ農場では、米を真空パックで包装して出荷しています。真空パックにすることで、米の酸化を抑える、保存期限を延ばす、虫や菌の発生を防ぐなどのメリットがあります。

スマート農業の活用

ほそかわ農場では、ドローンでの薬液散布や肥料散布、自動運転可能な有人トラクターを活用しているほか、田植えから乾燥までの工程をデータ管理するなど、スマート農業を活用しています。
スマート農業を活用する理由は、農作業に詳しくなく、自身での作業判断が難しい農業初心者でも刈り取りや米の乾燥などの作業が可能となることに加え、トラクターの操縦に不慣れでも自動運転により感覚を磨ける、携帯でいつでも作業内容を確認できるなど従業員の負担の軽減と効率化になるためです。



中央:細川 社長

ほそかわ農場公式ホームページでは・・・
お米(コシヒカリやこしいぶきなど)が注文可能！
美味しいお米を産地直送で食べられます！
→詳しくはほそかわ農場公式 HP(www.sanko-rice.jp)をご確認ください。
ほそかわ農場HP